

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：最新バイオロジーの論文ゼミ ILAS Seminar :Latest publications in biology			担当者所属 職名・氏名	化学研究所 准教授 柘植 知彦		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2026・前期	受講定員 (1回生定員)	10(10)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	火5	教室	共北37			使用言語	日本語
キーワード	英語論文 / 生物学・生物科学 / 輪読 / プレゼンテーション / ディベート						
[授業の概要・目的]							
<p>本ゼミでは、バイオロジー分野の最新論文を選び、わかり易く解説を加えながら、輪読して読み解いてゆく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象論文は、Nature誌、Science誌などから選んだものをゼミで提示する。 ・受講者は、辞書(書籍・電子)を持参して、論文の内容を事前・当日に理解する。 ・輪読は、解説を加えながら、交代で発表を行ない、進める。 ・プレゼンテーションやディベートを活用し、議論を通して、論文の科学的な理解を深める。 							
[到達目標]							
<p>英語原著論文を読み解く力を習得することを到達目標とする。 その過程で、生物学分野における最新のトピックスを理解し、その内容を的確に他人に伝えて、その内容について思考し議論できる能力を育成する。</p>							
[授業計画と内容]							
<p>第1回：イントロダクション。論文の読み方、輪読の方針、発表と議論の方法について、例をあげながら説明する。 第2回～第14回：最新論文の輪読。課題となる英語論文について和訳や要約の発表を行なう。論文の内容を紐解きながら、議論を行なう。 第15回：フィードバック</p>							
[履修要件]							
特になし							
[成績評価の方法・観点]							
<p>出席と授業参加の状況(60点) 課題論文内容の理解度と、輪読における発表・議論の積極性(40点)</p>							
[教科書]							
必要に応じて、随時、授業中にプリントを配布する。							
ILASセミナー：最新バイオロジーの論文ゼミ(2)へ続く							

ILASセミナー：最新バイオロジーの論文ゼミ(2)

【参考書等】

(参考書)

授業中に紹介する

英語論文を読むために、英和辞書・英英辞書が必要。書籍・電子辞書ともに可。

【授業外学修（予習・復習）等】

対象論文の予習範囲と程度については、必要に応じて授業時に指示をする。

【その他（オフィスアワー等）】

質問や連絡事項はメールにより連絡を取る。

授業にはコンピューター、iPadなどの端末（OSは不問）を持参すること。その端末には、Power Point、Keynote、PDF Readerなどのソフトウェアがインストールされていることが望ましい。

各自、端末を使用して、文献検索、プレゼンテーション準備・発表を実施する。

【主要授業科目（学部・学科名）】